

ありがとうの灯中

学校便り第5号

令和6年8月19日

福井市灯明寺中学校



夏休みも残すところ後一週間となりました。依然として厳しい暑さは続いています、「ありがとうの灯中」の皆さんには「有意義な夏休み」となっているのでしょうか。昨年度の夏は、熱中症アラートが発令された時は全活動を中止したため、ほとんど何もできなかったという声がありました。そこで今年度は、活動時間を早朝や夕方に設定して、熱中症には常に注視しながら、少しでも皆さんの活動を充実させようと思いました。そして、これまで3年生の生徒たちは、学習会や9月の学校祭に向けての準備や練習に、1・2年生の生徒たちは、9月末に開催される秋季新人大会に向けて連日汗を流してきました。その大粒の汗を流しながら、一生懸命に大きな声を出して努力する姿からは、やはり中学生の時（代）にすべきことは何かについて改めて強く感じました。事故は不注意から起きます。常に事故が起きないように、様々な対策を立てて慎重に取り組みさえすれば、物事は成せると私は考えます。おごりや過信、油断という心や考えがあるから、トラブルや事故が起きると思います。暑い夏休みもあと一週間です！ぜひ、一人ひとりが熱中症を含めて事故が起きないように、そして、「チャレンジすること」を大事にして、少しでも「Well-beingな夏休み」となることを願っています。

ところで、この夏は2024パリオリンピックがありました。「夢は叶う」という言葉がまさに当てはまった人、また逆に、期待とは裏腹にその願いが叶わず涙した人、それぞれの選手たちの姿からは、本当にたくさんの感動と人としての大切な学びがありました。皆さんにとってのパリオリンピックはどのように映ったでしょうか。私はこのオリンピックを通して、「オリンピックはまさに人の生き様を象徴する」と強く感じました。「4年」という長い間、日々自分を追い込み、極限といえる過酷な練習に耐えながら、各国の超一流の選手たちがメダル獲得を目指して必死になる大会がオリンピックです。そのため、その努力や期待が大きい分、各選手たちが背負っているものが実に大きいことがうかがえました。だからこそ、見事に「夢を叶えた人」もまたそうでない人も共通してインタビューで出る言葉は「感謝の想い」でした。団体競技でも個人競技でも、自分自身を支えてくれた指導者やチームスタッフ、仲間、そして、家族に対して心からの「ありがとう」の言葉がありました。私はこのオリンピックを通して、人はやはり「ありがとう」で生きている、生かされていると強く感じる事ができました。「ありがとうの灯中」の皆さん。いよいよ来週から学校がスタートします。感謝の心を大切に、まさに『必笑・勝・燃』の中学校生活を送ってくださいね。

<今年の学校祭テーマ>

福井市灯明寺中学校長 佐藤 勉 (Big Ben)

<ジャネット先生：離任式>

先月7月19日（金）をもって、本校にALTとして約3年間勤務されたジャネット先生が任期を終えられました。ジャネット先生は、本当に明るい、笑顔がとても素敵な方で、先生の授業はいつも楽しい雰囲気に包まれていました。先生の英語助手としてのお仕事ぶりは大変評価が高く、福井市からは感謝状が、そして、国からは「JET絆大使」にも任命され、今後は、日本とアメリカの「架け橋」として、さらなるご活躍が期待されています。私たちも先生から学んだことを生かして、何事にもチャレンジしながら、自分たちの生活をより豊かにしたいと思います。本当に「ありがとう」ございました。

